

※仕様変更に伴い、一部のカバー交換手順が変更となっております

SDP-840Jの中パットカバー取付け方法の手順書

中コテマットと結露防止カバー取付け部の仕様変更(仕上り性能向上)により、中パットカバー取付け方法が変更になります。下記の取付け手順でお願いいたします。

- ① 中コテマットのマジックテープを全て外して、中コテの左側(正面から見て左側)から中コテマットを被せてていき、マジックテープを仮留めしていきます。(図8-1～8-2)
- ② 取扱説明書11ページの「エアーを入れてください」を参照し、メインレギュレータのエアー圧力を0.2MPaくらいまで下げる、中コテを手で降ろしてください。
- ③ 中コテを降ろしたら、マジックテープをしっかりと留め、アーム部分の紐を左右しっかりと縛ってください。(図8-3～8-5)



図 8-1



図 8-2



図 8-3



図 8-4



図 8-5



図 8-6

- ④ 結露防止カバーと火傷防止カバーを取付けます。(図9-1～9-4)
- ⑤ 中コテを上に持ち上げ、カバーにシワがないか確認をしてください。(図9-5)



図 9-1



図 9-2



図 9-3



図 9-4



図 9-5

- ⑥ 図9-4まで出来ましたら、メインレギュレータのエアー圧力を0.6MPaに戻して完了です。
(圧力を元に戻す際は、上コテと中コテの間に挟まれないように注意してください。)

カバー・マット交換手順



注意

カバー・マットを交換する際には、必ず電源・スチームを止め、機械が完全に冷めたことを確認の上、作業を行ってください。
冷め切らないまま作業を行うと、火傷などのケガをする恐れがあります。



注意

カバーを張る為にスプリングフックが付いています。フックを引っ張る際はフックを直接手で持たず、必ずリングに指を掛けて引っ張ってください。
怪我をしないよう充分注意をして作業を行ってください。



注意

機械本体及び各コテ面、金網、その他機械部品にカバー・マット類が直接触れると汚れる恐れがあります。着脱の際には十分に注意してください。

はじめに

カバー・マット類の全てを装着する場合の手順を説明しています。取外す場合は取付けの手順を逆にして行ってください。
また、一部のカバー・マット類を交換する場合は、対象の交換手順を参照してください。

●カバー・マット類一覧

①上コテメッシュカバー × 1



②下コテメッシュ × 1



③上・下コテシリコン × 2



④上コテカバー(内側) × 1



⑤上コテカバー(外側) × 1



⑥下コテカバー(内側) × 1



⑦下コテカバー(外側) × 1



⑧中コテマット × 1



⑨結露防止カバー × 1



⑩火傷防止カバー × 2





1. トップパーテーブルを留めているボルトを緩めて、トップパーテーブルを傾けます。(図 1-1～1-2)



図 1-1



図 1-2

2. 下コテ面に下コテメッシュを載せます。(図 2)
メッシュを載せる際、下コテ面に対して前後左右均等にはみ出るように載せます。



図 2

3. メッシュを載せた下コテ面に、上下コテシリコンを載せます。(図 3)
上下コテシリコンを載せる際、下コテ面に対して前後左右均等にはみ出るように載せます。



図 3

4. 上下コテシリコンの上から、下コテカバー(内側)を被せます。(図 4-1)
※その時に、上下コテシリコンがコテ面上で動かないように、丁寧にカバーを被せてください。
紐が出ている場所をコテの中心に合せてから、カバーの紐を引いて、トップテーブルのベースにしっかりと結びつけます。(図 4-2~4-4)
※カバーには白のステッチ(図 4-2~4-3 の赤線部分)がしてあります。機械右手側のコテのフチからカバーのステッチまで約1センチの隙間を取り、コテの奥と手前でステッチが対称になるようにしてから紐を結んでください。



図 4-1

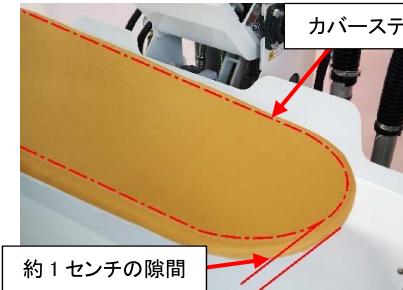


図 4-2



図 4-3



図 4-4

5. 下コテカバー(内側)の上から、下コテカバー(外側)を被せます。(図 5-1)
紐が出ている場所をコテの中心に合せてから、カバーや生地の境目(図 5-2)から、下側でコテのフチを覆うようにし、4 項と同様に紐を結びます(紐の結び目は、4 項と同様にしてください。)。
※下コテカバー(外側)には白のステッチはありません。



図 5-1



図 5-2

6. 中コテマットのマジックテープを全て外して、中コテの左側(正面から見て左側)から中コテマットを被せていき、マジックテープを仮留めしていきます。(図 6-1~6-2)
11 ページの「エアーを入れてください。」を参照し、メインレギュレータのエアー圧力を 0.2MPa くらいまで下げて、中コテを手で降ろしてください。
中コテを降ろしたら、マジックテープをしっかりと留め、アーム部分の紐を左右しっかりと縛ってください。(図 6-3~6-5)

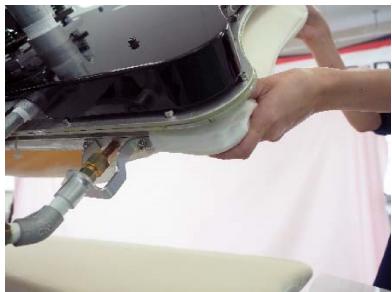


図 6-1



図 6-2



図 6-3



図 6-4



図 6-5



図 6-6

7. 結露防止カバーと火傷防止カバーを取り付けます。(図 7-1~7-4)
中コテを上に持ち上げ、カバーにシワがないか確認をしてください。(図 7-5)



図 7-1



図 7-2



図 7-3



図 7-4



図 7-5

8. 中コテを下げる状態にしておきます。
上コテメッシュカバーの紐を引き、カバーを掛けやすくするため、カバー右側(正面から見て右側)をポケット状にします。(図 8-1～8-2)
カバーをコテの先端部分から、コテ全体に被せます。(図 8-3～8-5)
紐が出てる場所をコテの中心に合せてから、カバーの紐を引いて、しっかりと結んでください。(図 8-6)
カバーのフチがコテのフチに掛かっているかを見直して、カバーの表面にシワがないように整えてください。(図 8-7)
結んだ紐をコテのウラ側の隙間に入れ込んでください。(図 8-8)



図 8-1



図 8-2

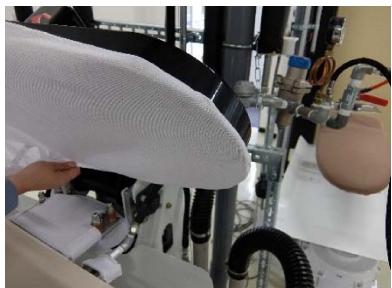


図 8-3

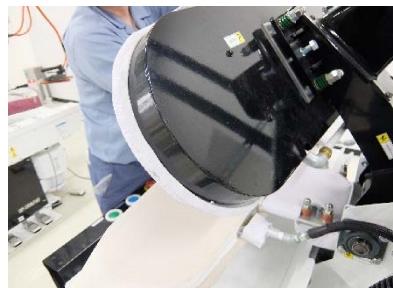


図 8-4



図 8-5



図 8-6



図 8-7



図 8-8

9. 上コテカバー(内側)の配管切欠き部のフックを外し、上コテ配管部分に通してフックを留めます。
(図 9-1～9-2)



図 9-1

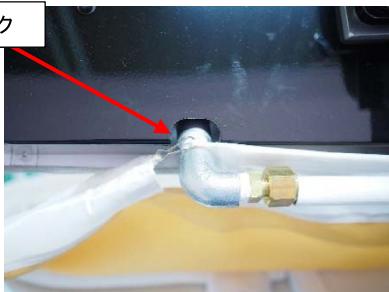


図 9-2

10. 上コテカバー(内側)を広げ、その中に上下コテシリコンを載せます。この時、カバーのコテ面に当たる生地に
対して、前後左右均等にはみ出させてから、カバーの中に載せてください。(図 10-1)
上コテカバー(内側)の紐を引き、カバーを掛けやすくするため、カバー右側(正面から見て右側)をポケット状に
します。(図 10-2)

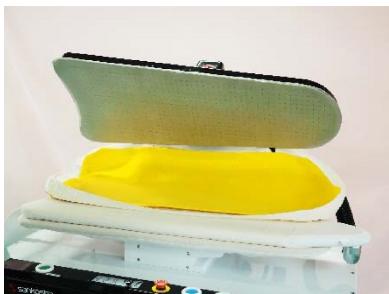


図 10-1



図 10-2

11. 上コテカバー(内側)をコテの先端部分から被せていき、カバーがずれ落ちないように紐を軽く引き、仮結びをしてください。(図 11-1～11-2)
 ※上コテ左端部に貼られている青い矢印と結び目の位置を合せてください。(図 11-2)
 ※上コテカバーの紐を引く時は、手前側の紐を主に引きます。奥側の紐を強く引きすぎないよう注意してください。(図 11-3)
 ※上コテカバー(内側)にも白のステッチ(図 11-4 の赤線部分)がしてあります。4 項と同様に機械右手側のコテのフチからカバーのステッチまで約1センチの隙間を取り、コテの奥と手前でステッチが対称になるようにしてください。カバーの位置が調整出来ましたら、しっかりと紐を結んでください。(図 11-4)



図 11-1



図 11-2

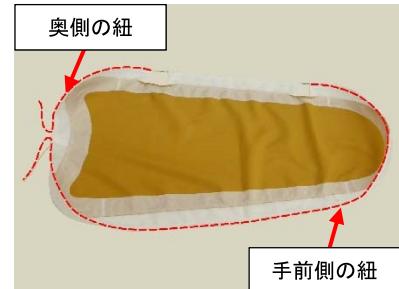


図 11-3

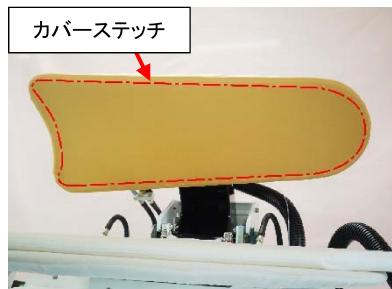


図 11-4

12. 9 項と同様に、上コテカバー(外側)の配管切欠き部のフックを外し、上コテ配管部分に通してフックを留めます。(図 12-1～12-2)
 上コテカバー(外側)を上コテカバー(内側)の上から、前後左右均等になるように被せ、紐を結びます。紐は結んだあと、カバーの中に入れ込んでください。(図 12-3)
 ※上コテカバー(外側)には白のステッチはありません。



図 12-1



図 12-2



図 12-3

13. 上・下コテのカバー張りスプリングを取付けます(取付け位置は図を参考に取付けてください。)。(図 13-1～13-4)
使用するカバー張りスプリングは、図を参照してください。(図 13-5～13-6)

●上コテ

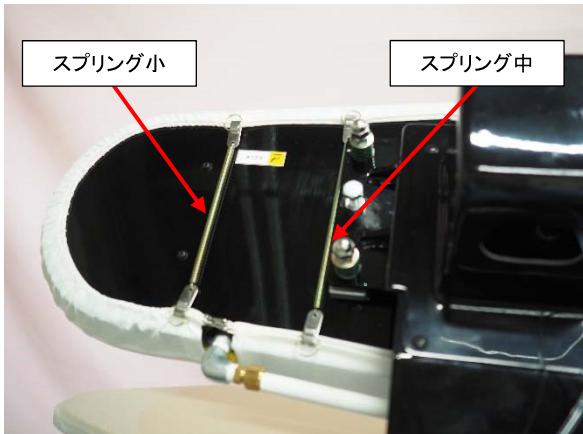


図 13-1

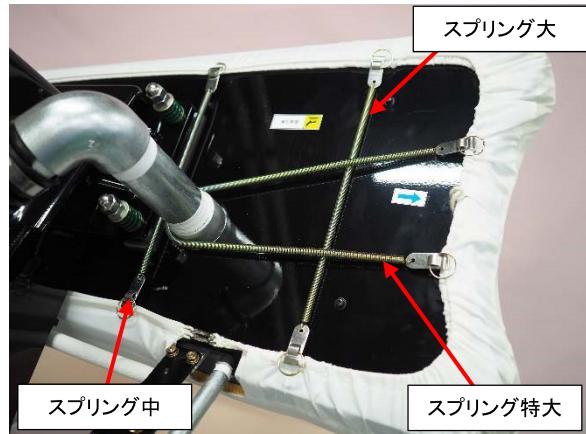


図 13-2

●下コテ

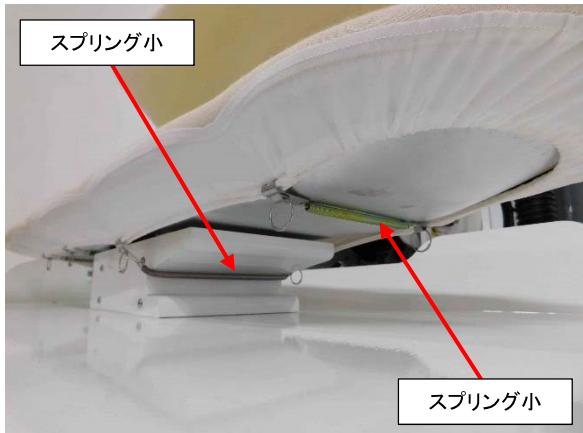


図 13-3

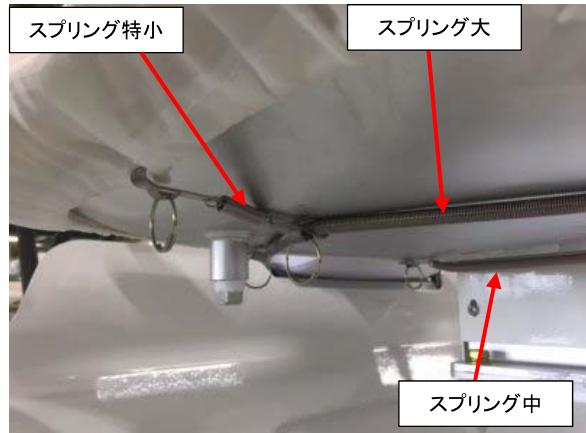


図 13-4

●使用スプリング



図 13-5(上コテ)



図 13-6(下コテ)

14. カバーの取付けが完了いたしましたら、プレス面に大きなシワ等が無いよう確認してください。
また、6 項で下げるエアー圧力を、規定値の 0.6MPa に戻してください。